連続企画第三弾

これからの医療を考える

憲法が危ない！　医療保険も危ない！

「危ないのは憲法だけじゃない！」の連続企画の第三弾です。「介護保険も危ない！」「健康も危ない！」に続き、私たちの健康や暮らしに影響する重要な課題を連続企画として取り上げていきます。
日本の社会保障が急速に変わろうとしており、私たちのいのちと暮らしを脅かしています。
その問題点を学び、望ましい安心の社会保障制度のあり方を、市民の皆様と医療・介護・福祉関係者がつどい、共に考えたいと思います。多くの皆様のご参加をお持ちしています。

日本の国民皆保険制度は、戦後に制定され、長寿社会を実現し、世界に誇れるものとなりました。しかし今、私たちは医療の現場で、複雑で多様な問題に直面し、皆保険制度の危機も言われはじめています。高度先進医療とその現場でおきる生と死の尊厳の問題、超高齢化社会とそれを支える人とお金の問題、TPPに象徴されるグローバル経済優先がもたらす医療のひずみ、医療の受け手と担い手の立場と見解の相違、などなど、どれもが難題です。医療制度と社会の問題に対して発信を続け、息の長い活動を続けてこられたお二人のお話をお聞きし、これからの時代に求められる、いのちを支える医療のありようについて考える機会としたいと思います。

講師

住江憲勇さん　全国保険医団体連合会の活動の歴史と提言

本田 宏さん　温故知新、医療再生に向けて

日時

平成２８年１２月２３日（金・祝）　18：00～21：00

会場

平和と労働センター（全労連会館）
２階ホール（東京都文京区湯島2-4-4）

参加費

1000円（学生無料）
（事前申込みは不要です。）

アクセス
・JR総武線　御茶ノ水駅から徒歩8分
・東京メトロ丸ノ内線　御茶ノ水駅から徒歩7分
・東京メトロ千代田線、都営新宿線　新御茶ノ水駅徒歩10分

主催

いのちと暮らしを脅かす
安全保障関連法に反対する医療・介護・福祉関係者の会
HP： heiwa-inochi.sakuraweb.com/
FB： facebook.com/inochi.and.kurashi/

＜お問い合わせ先＞TEL：090-3312-7607　FAX：0470-44-5302

講師プロフィール

住江憲勇さん

1948年生まれ。1975年関西医科大学卒業。上二病院、大阪厚生年金病院勤務を経て、1981年大阪府に住江眼科開業。1991年大阪府保険医協会理事、1999年理事長を経て、2005年より特別顧問。全国保険医団体連合会常任幹事、組織部長などを経て、2006年会長就任。協仁会小松病院非常勤医師。1961年に国民皆保険制度が実現し、1969年に設立された全国保険医団体連合会(保団連)は、開業医の62%（医科65%、歯科60%）が加入するとともに勤務医約1万9千人が加入、現在会員は10万5千人を超える。保険での医療の充実・改善を通じて国民医療を守ることを目的に、活動している。

本田 宏さん

1954年福島県生まれ。1979年弘前大学医学部卒業、同第1外科入局。東京女子医科大学腎臓病総合医療センター外科にて腎移植、肝移植の研究に携わる。1989年埼玉県済生会栗橋病院外科部長、2001年同病院副院長。2011年同病院院長補佐。2015年3月外科医を引退、栗橋病院退職。
さらなる情報発信と市民活動への参加等を通して、医療＆日本再生の活動を開始している。
著書に「誰が日本の医療を殺すのか―『医療崩壊』の知られざる真実」「本当の医療崩壊はこれからやってくる」（共に洋泉社）など。

パネルディスカッション　19：30～20：50

1．医療財源の確保のための、消費税を含めた税制をどう考えるか
2．ＴＰＰ（ＴＰＰが廃止された場合のアメリカとの２国間貿易協定）と医療の問題について
3．日本がこれから長期的視野で目指したい社会保障制度のヴィジョンはどのようなものか

住江憲勇さん、本田宏さんと、各政党から議員さんにも参加していただき、討論予定です。
ＦＡＸでも、質問、ご意見をお寄せください。 頂いたご質問のうち主だったものを、当日会場でのディスカッションに反映させていきたいと思います。

FAX宛先　０４７０−４４−５３０２

【氏名】　※できるだけお書き下さい。

【ご質問・ご意見】